



報道関係各位

2015年11月10日

トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社

## トムソン・ロイター、統合されたデスクトップから外国為替取引では最大規模の流動性へのアクセスを提供

次世代デスクトップ“FXトレーディング”は、バイサイド向けの高度なポートフォリオ・オーダー・マネジメント・システムに加え、外国為替取引に関わる一連の機能を統合し、外国為替コミュニティの皆様の流動性へのアクセスを効率化します。

(ニューヨーク、ロンドン発) 企業と専門家のために「インテリジェント情報」を提供するトムソン・ロイターは、このたび外国為替(外為)の取引執行機能を1つのプラットフォームへまとめることにより、業界最大規模となる外為の流動性プールへシングル・ポイント・アクセスを提供します。トムソン・ロイターは、ストリーム・サービス(FXall, Quick Trade)、ストリーミング・プライス(Banks Stream)、セントラル・リミット・オーダー・ブック(Matching, OrderBook)、カンバーセーショナル・ディーリング(Dealing)といった外為取引関連の全てのサービスをトムソン・ロイターの次世代デスクトップ・ソリューションであるFXトレーディングに完全統合いたしました。

既存のトムソン・ロイター 外為電子取引システムをご利用いただいている外為取引のプロフェッショナルの皆様にとりましては、一日平均で3,670億ドル<sup>(\*)</sup>が取引されている(過去12カ月間における外為取引高)流動性プールへのアクセスが可能になります。また、Peg、TWAP、アイスバーグなどトレーダーの取引執行の新たな選択肢が加わることで、取引をより柔軟に行うことができます。そして100社以上の外為約定チケットの送信者(パブリッシャー)と1000社以上のチケット受信者(レシーバー)をカバーするネットワークを提供しているトムソン・ロイター・ノティフィケーション(TRTN)を統合することでポスト・トレードを強化します。

FXトレーディングは、バイサイドからのご要望に応えるために、取引の先渡日、通貨、様々なアロケーションの設定機能を持つ取引ポートフォリオのコラボレーションを可能にし、更にワークフローを効率的に行う先進的なFXallポートフォリオ・オーダー・マネジメント・システム(POMS)を組み入れます。マーケットメーカー向けには、主なEコマースへのシングルサインオン、対顧客向けのプライシングとそのレート配信機能(Electronic Trading、セトルメント・センター)が提供され、これらを通じてマニュアル又は自動ヘッジが可能になります。

FXトレーディングは、旗艦の金融情報ツール“トムソン・ロイター・アイコン”で提供される取引前に参照するために必要なデータや分析機能へのシングル・サインオンが可能です。また、透明性を確保しつつ最高水準の市場行動を準拠いただけるトムソン・ロイター・ルールブックも用意されております。

「マーケット・ボラティリティ、新たな規制、そして市場参加者のリスク許容度の低下、と言ったことが外為市場の流動性に影響を与えています。」と、トムソン・ロイター、FX グローバルヘッド、フィル・ワイズバーグは話しています。「そのような背景から、顧客の皆様が必要とされている流動性を容易に見つけ、取引タイプや流動性供給先の選択肢が豊富で効率的にアクセスでき、外為取引で準拠しなければならない行動規範を備えた、新しいプラットフォームの利点を全てのユーザーの皆様にご覧いただきたく思います。また、既に千人単位の皆様が契約されていることから、FXトレーディングをご理解いただいていることが判ります。今後もプラットフォームの機能強化にあわせて、多くのお客様に利用していただきたく考えております。」

【この件に関するお問い合わせ先】

トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社 パブリック・リレーションズ 松島由起子 電話: 03-6441-1617

©2015 Thomson Reuters. All rights reserved.

Thomson Reuters 及び Thomson Reuters ロゴは、Thomson Reuters の商標であり、登録商標となっています。本書に言及される如何なる第三者の名称又はマークは、当該第三者に帰属します。



「外為市場は更に複雑になり、流動性の確保は更にチャレンジングになっています。市場参加者はこうした状況に対する柔軟性を要望しています。」と市場情報・アドバイザー機関であるグリニッチ・アソシエーツの市場構造&テクノロジー・リサーチヘッドのケビン・マックパートランド氏は話しています。「重要な取引相手先との関係を守りながら、取引の効率化を図ることはこれからの電子取引を設計するにあたり非常に重要です。」

2014年に開発が始まったトムソン・ロイター・FXトレーディングは、最も優れた取引前分析ツール、取引執行機能、ポスト・トレード機能を次世代デスクトップ上にまとめるというトムソン・ロイターの戦略から生まれました。FXトレーディングはこれまでの一連の外為取引のワークフローに関わるサービスをユーザーの皆様のご要望に沿ったアップグレードを通じて、今後も機能やコンテンツの追加と共に継続的に進化して参ります。

(\*) (トムソン・ロイターが提供する全ての外国為替電子取引所における2014年10月1日から2015年9月30日までの12カ月間の日時平均外国為替取引高)

以上

本稿は、2015年11月9日(GMT)の英文プレスリリースを翻訳したものです。正確な内容については、原文をご参照ください。本稿と原文に相違がある場合には原文が優先します。  
なお、英文プレスリリースは、トムソン・ロイターのウェブサイト(グローバル)、<http://thomsonreuters.com> よりご覧いただけます。

#### トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイターは企業と専門家のために「インテリジェント情報」を提供する企業グループです。業界の専門知識に革新的テクノロジーを結びつけ、世界で最も信頼の置かれている報道部門をもち、ファイナンシャル・リスク、法律、税務・会計、知財・学術情報、メディア市場の主要な意思決定機関に重要情報を提供しています。トムソン・ロイターの株式は、トロント証券取引所およびニューヨーク証券取引所に上場されています。詳しい情報は<http://thomsonreuters.com> をご覧ください。